

琵琶湖森林づくり事業の追加事業等について

資料4

- ・追加・上積みした事業について、原則として当初充当すべきとされた事業の範囲から逸脱したものではなく、範囲内と考えている。
- ・第2回検討会で「税条例の趣旨」についてご議論いただいた際に、「税条例の趣旨については、現状の事業の範囲内なので、その見直しは行うことにならない。」とされ、現在実施している事業は税条例に趣旨に沿った事業と判断されている。
- ・事業規模については、基金残金を取り崩しも含め、基金充当枠内で対応可能な規模としている。

単位:百万円

	事業名	開始年度	目的・内容	追加理由	当初設計額	H21税充当額	H22税充当額
環境重視	1. 陽光差し込む健康な森林づくり事業		放置された人工林対策		160	116 (97)	277 (122)
	1-1環境林整備事業	H18 H20(拡充)	協定に基づき、強度間伐により針広混交林へ誘導	A	140	62 (34)	102 (38)
	1-2農地漁場水源確保森林整備事業	H20(新規)	農地水源林や漁場環境改善のため、除間伐に対する助成	A・B		39 (63)	52 (84)
	1-3森林環境の調査研究	H18	手入れ不足人工林調査等		20	15	22
	1-4森林吸収源確保対策事業	H22(新規)	地球温暖化対策の除間伐促進のための助成	A			48
	湖国の森林と自然を守るニホンジカ特別対策事業	H22(新規)	森林を保全するためニホンジカ被害対策に対する助成	D			53
	2. 長寿の森奨励事業	H18	長伐期林へ誘導するため森林施業に必要な活動に対する助成		30	40	42
	3. 森林を育む間伐材利用促進事業		間伐材の搬出利用による資源の循環利用と地球温暖化防止対策		30	54	77
	3-1地球温暖化防止対策間伐材利用拡大事業	H18	森林組合が間伐材の買い取る場合の助成		30	21	22
	3-2間伐材搬出対策事業	H20(新規) H22(拡充)	間伐材搬出のため搬出路作設支援 間伐材搬出のため高性能林業機械のリース費用支援	C C		33	55
県民協働	4. 里山リニューアル事業	H18 H22(拡充)	市町がフィールドを確保し実施する里山の環境保全に対する助成	A	60	119	74 (29)
	5. 協働の森づくりの啓発事業	H18			20	14	18
	6. みんなの森づくり活動支援事業	H18			60	36	21
	7. 未来へつなぐ木の良さ体感事業	H18			140	137	149
合計	8. 森林環境学習「やまのこ」事業	H18			100	90	104
					600	606 (97)	762 (151)

注) H21及びH22充当額欄において、下段()書きは、国費を外数で示している。

追加理由	事業趣旨に合致する国補事業の取り込み	A
	地球温暖化防止のため森林吸収源確保対策として実施	B
	地球温暖化防止のため二酸化炭素の固定対策として実施	C
	森林生態系の維持のため実施	D